

2015年 日本語論評コンテスト ジャッジブリーフィング 台本

(このスクリプトは審査員ブリーフィングで述べる事項についての指針です。詳細は公式のルールブックをご参照下さい)

※審査委員長は事前にコンテスト委員長からスピーチエリアを教えてください。また集計場所を確認しておく。コンテスト用の別室を用意している場合、その部屋を利用すればよい。

このブリーフィングの参加者

① 審査委員長 ② 審査委員 () 名 ③ 集計係 3名 ④ 計時係 2名

時間	内容	備考
	<p>私は今回コンテストの審査委員長を務めます〇〇〇〇です。本日はコンテストのためにお越し頂き、また、ご協力頂き誠にありがとうございます。良いコンテストにするため、皆さまにご尽力頂きましたこと、感謝いたします。</p> <p>はじめに、出欠確認をいたします。名前を呼ばれましたら、返事をお願い致します。その後、必要書類をお渡しします。</p> <p>(同点審査員はブリーフィングに参加しません。審査委員長は同点審査員へ同点決着審査用紙を手渡します。必要であれば、同点審査員に概要をお話します。また同点審査用紙は審査委員長が直接回収します。審査委員長のみ同点審査員が誰であるかを知ることができます。詳細はルールブックをご参照ください)</p> <p>審査委員 〇〇〇〇さん (審査用紙と審査基準を渡す) 〇〇〇〇さん (審査用紙と審査基準を渡す) 〇〇〇〇さん (審査用紙と審査基準を渡す) 以下繰り返し 計時係 2名 〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん (時間記録用紙を渡す) 集計係 3名 〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん 〇〇〇〇さん (集計用紙を渡す) よろしく願いいたします。</p> <p>今回のコンテストはトーストマスターズインターナショナルのスピーチコンテスト規則の 20●●年版邦訳に基づいて行います。皆さんは、事前に規則及び審査基準を閲覧して頂けたことと思います。最初にルール改正点と、審査基準の概要説明を行い、その後で計時係、集計係の説明を行い、最後に守秘義務についてお話します。もし質問がありましたら、その時に割って入って遠慮なくご質問下さい。</p> <p>■ 2015年ルール改正についての説明 2015年のルール改正のうち、論評コンテストに影響する点についてご説明いたします。</p> <p>新しいルールとして、「出場者はコンテスト中、不当な優位性を得るためにデジタル機器及び他の機材を使用してならない」という点が加わりました。</p> <p>このデジタル機器の定義については、厳格に定義・管理・監督しづらいものです。本コンテストでは、コンテストおよび聴衆が、正しく公正な態度でスピーチコンテストに臨むと信じています。デジタル機器についてもその方針で考えており、「デジタル等の機器」の定義については皆さんの良識に判断をゆだねます。</p>	

もスピーチが終わるまで信号を掲示してください。その後スピーチ所要時間を司会者に知らせてください。

最初に、ストップウォッチで時間を計測する人と、信号（緑、黄、赤）を掲示する人を決めてください。

論評の長さは、2分から3分です。

1分30秒未満または3分30秒を超えた場合は、失格となります。論評はコンテストが言葉を発するか、言葉によらずとも聴衆と明確なコミュニケーションをとった時点から計測されます。

a. 緑の信号は、2分で表示され、30秒間表示し続けます。

b. 黄の信号は、2分30秒で表示され、30秒間表示し続けます。

c. 赤の信号は、3分で表示され、論評の終了まで表示し続けます。

スピーカーが3分30秒を過ぎても論評が終わるまで信号を掲示してください。

なお、信号は出場者にだけ見ればよいので、審査員や聴衆には見えなくても構いません。

先ほど述べましたが、各出場者の論評が終了した後、審査のために1分間の沈黙時間を設けます。最後コンテストが終了した後、集計するための時間制限はありません。審査委員長が全投票用紙の回収を確認するまでは、沈黙時間を設けます。

コンテスト終了後、時間記録用紙へ記録を記入し、時間不足、時間超過者を明確にして、審査委員長に渡してください。

質問はありますか？（少し待って、何もなければ次に進む）

■投票用紙の回収（集計係）

次に集計係の説明をします。

先ほど述べた通り、最後の集計時間が終わりましたら、

審査員は投票用紙の記入を終了しています。集計係の方はこの時に審査委員から投票用紙を回収してください。そして審査委員長と集計係は別室で集計いたします。審査委員長が最終確認します。集計係の方はどの審査員の投票用紙を回収するか、今ここで決めてください。

最後に、審査委員はコンテスト論評の独自性に関する異議がありましたら、論評終了後直ちに審査委員長またはコンテスト委員長にお申し出ください。必要に応じ、コンテストに配慮しながら異議について審査員と審議します。また、結果発表に関して間違いがある場合には集計係、計時係から直ちに割って入って訂正してください。結果発表のあとはいかなる場合でも結果の訂正はできません。

■守秘義務について（審査委員、計時係、集計係）

なお、審査結果、時間オーバーなどの情報はコンテスト終了後も口外することが禁じられています。スピーカーの獲得点数や各論評時間についても同様に口外してはいけません。

ご質問ありますか？（少し待って、何もなければ次に進む）ご清聴頂き誠にありがとうございました。素晴らしいコンテストにしましょう！